

第4章 施策の展開

1 施策の体系

5つの基本目標をもとに、各種環境施策を次のように展開します。

命はぐくむ郷土をまもる
環境と共生するまち

(1) 自然環境の保全、変化の抑制

<input type="checkbox"/> 森林・水辺	<ul style="list-style-type: none">● 森林の適正な保全● 自然に配慮した水辺環境の整備● 森や水とふれあう場の創出
<input type="checkbox"/> 農地・食	<ul style="list-style-type: none">● 農地の適正な保全● 環境保全型農業の推進と食の安全の確保

(2) 安全・安心な生活を支える基礎的生活環境の保全

<input type="checkbox"/> 大気・水質	<ul style="list-style-type: none">● 大気汚染の発生源対策の推進● 排水の適切な処理の推進
<input type="checkbox"/> 騒音・悪臭等	<ul style="list-style-type: none">● 生活環境を守るための監視体制の充実● 土壌汚染対策の推進

(3) 歴史・文化的資源の保全・活用や美しい環境の創出

<input type="checkbox"/> 歴史文化	<ul style="list-style-type: none">● 風土に根ざした歴史文化の保存・伝承
<input type="checkbox"/> 景観・緑化	<ul style="list-style-type: none">● 美しいふるさと景観の保全● 快適で緑ゆたかな街並みの整備

(4) 持続的発展可能な循環型社会の形成

<input type="checkbox"/> エネルギー	<ul style="list-style-type: none">● 省エネルギー活動の促進● 再生可能エネルギーの利活用
<input type="checkbox"/> 廃棄物・リサイクル	<ul style="list-style-type: none">● 資源の有効利用及びごみの排出抑制● ごみの分別・リサイクルの徹底● 廃棄物回収・処理の適正化

(5) 広報、学習、啓発、町民参加の推進

<input type="checkbox"/> 学習・保全活動	<ul style="list-style-type: none">● 環境調査・学習の推進● 環境活動への主体的な参加の促進
<input type="checkbox"/> 普及・啓発	<ul style="list-style-type: none">● 環境保全の普及・啓発

(1) 自然環境の保全、変化の抑制

自然

基本目標の方向性

庄内町は、月山山頂を含む磐梯朝日国立公園を有しており、その一角をなす森林には希少な動植物が数多く分布しています。また、最上川、立谷沢川、京田川の各河川の豊かな水系が形成する多様で貴重な水辺環境のほか、平野部の多くを占める農地や農業用水が地域の豊かな自然環境や、景観を作る上で大きな役割を果たしています。

特に、町域の約63%を占める森林は、林業の営みや動植物の生息だけではなく、人々の休養・レクリエーションの場、さらには水源涵養、二酸化炭素(CO₂)の吸収などといった地域や地球環境の保全まで多様な公益的機能を有する、町民の貴重な財産です。

しかしながら、近年は社会・産業の変化や気候変動等により、緑や水の環境が大きく変化しており、大切な資源を後世に残していくためには、長期的な視野に立った保全・育成を行っていく必要があります。現在、本町のみならず近隣市町村共有の宝である月山山麓の資源を教育や文化活動に活かして地域振興に取り組むジオパーク構想が進められています。

こうした状況を踏まえて、森林、農地、河川の環境の維持・保全及び機能強化を推進すると同時に、本町が誇る「食」について、より安全で安心な農作物の生産といった取り組みを通して、本町の原風景である良好な自然環境の保全を図るとともに、人々に親しまれる環境の形成を図っていきます。

分野及び方針

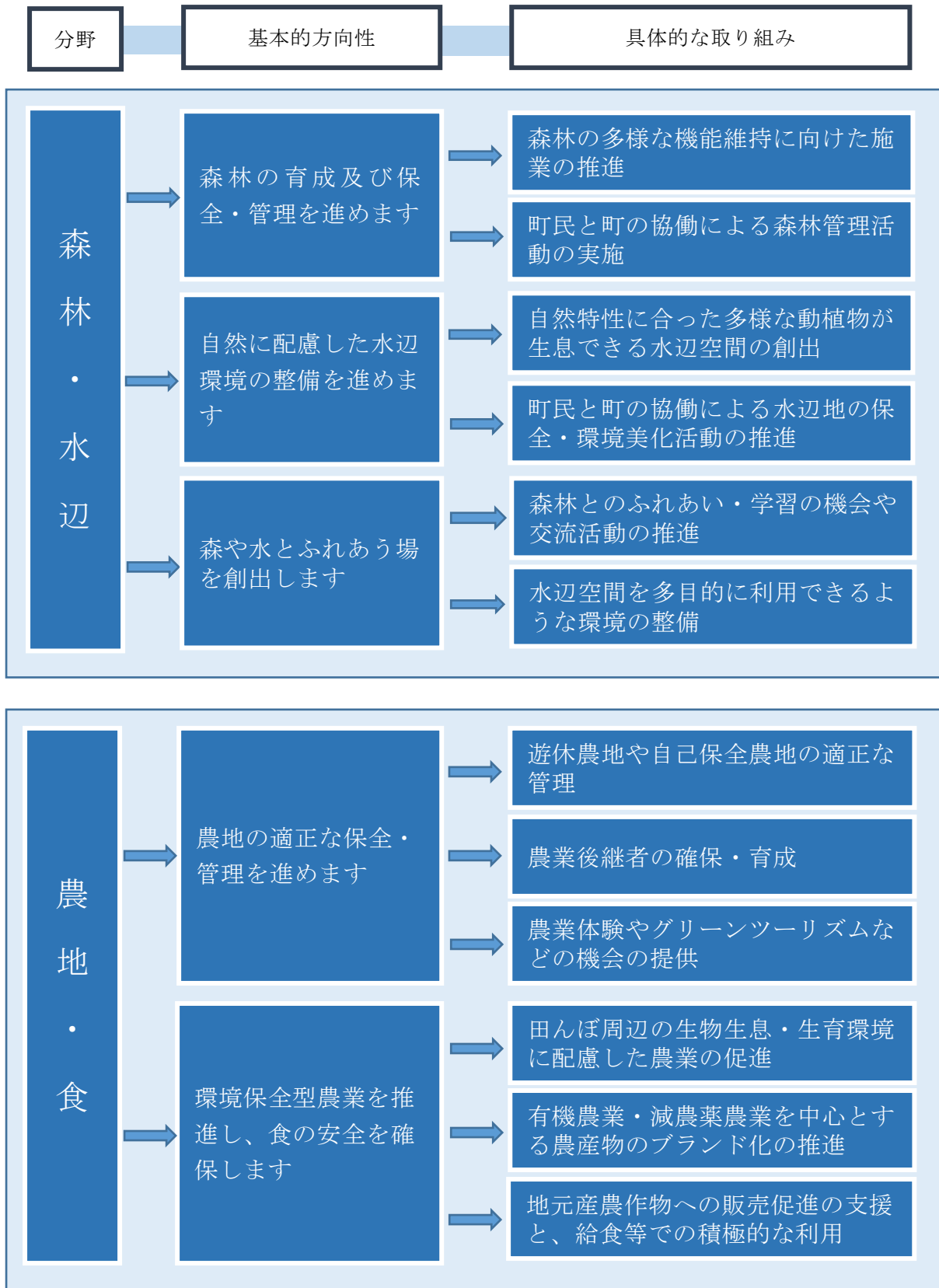
森林・水辺

森林が持つ多様な機能の確保、豊かな水辺地域の保全を図るとともに、安心して水・緑にふれあうことのできる空間の形成を図ります。

農地・食

農地の適正な保全・管理を進めるとともに、環境保全型農業を促進し、食の安全性の確保を図ります。

「自然環境の保全、変化の抑制」に関する施策の展開



「自然環境の保全、変化の抑制」のために期待される行動

■町民の皆さんに期待される行動

〈主な行動例〉

- ・ 緑を守り、育む森林保全活動に積極的に参加
- ・ 環境に配慮した農業を積極的に導入
- ・ 地元で生産された低農薬や有機栽培の農作物を積極的に購入
- ・ 水辺の保全・環境美化活動に積極的に参加
- ・ 家庭での節水や水の再利用・有効利用を励行
- ・ 外来種の生き物を放たないなど、本来の自然生態系を尊重
- ・ 庄内町の豊かな緑や水辺などの自然の中での活動を実施 など

■事業者の皆さんに期待される行動

〈主な行動例〉

- ・ できる限り国産木材を使用するとともに、森林の適正な維持・管理を実施
- ・ 農地は、低農薬化や有機農業化等環境に配慮した営農を推進
- ・ 事業活動における節水とともに、水の循環利用、雨水の有効利用を励行
- ・ 宅地造成等に際しては、周囲の生態系への影響を最小限に抑えるよう配慮
- ・ 町や町民が行う自然とのふれあい事業・活動に参加・協力 など

「自然環境の保全、変化の抑制」に関する環境指標

環境指標	目指す方向性	現状値 平成 27 年度	目標値 平成 37 年度
林野面積	維持	15,488ha	15,488ha
森林環境緊急保全対策事業(やまがた緑環境税) ※間伐等の森林整備や木材資源の利用促進など	増加	24.9ha	30ha
水辺環境を保全するNPO等の団体数	増加	11 団体	13 団体
自然観察会・野生動植物の学習会等開催回数(町主催) ※町民大学自然学部など	維持	5 回(73 名)	5 回(70 名)
グリーンツーリズム推進事業参加者数	増加	386 名	400 名

基本目標の方向性

豊かな自然の恵みであるきれいで安全な空気や水、大地で構成する基盤的な環境のほか、身近な生活における静かな環境、緑のある美しい街並み・景観、そして地域の歴史・文化が醸し出す雰囲気は、本町の優れた生活環境であり、このような環境は人々の心身の健康などにも良い影響を与えるものです。特に、本町を流れる最上川、立谷沢川、京田川の各河川のBOD75%値は、いずれも環境基準を達成しており、その中でも立谷沢川については、平成の名水百選に選ばれるなど県内でも屈指の水質を誇っています。

しかしながら、生活環境を取り巻く情勢をみると、畜産業から出る悪臭に対する根強い苦情、さらに、河川などの公共用水域に、灯油などが流出する水質汚濁事故が増えている状況がみられます。

本町は、最上川及び京田川、立谷沢地区を貫流する立谷沢川の豊かな水源に支えられ、農業を基幹産業として発展を遂げてきました。今後も、生活雑排水による河川等の水質汚濁を防止し、私たちを取り巻く生活環境の保全のために、環境に影響をおよぼす負荷の軽減と適切な処理を推進していきます。

分野及び方針

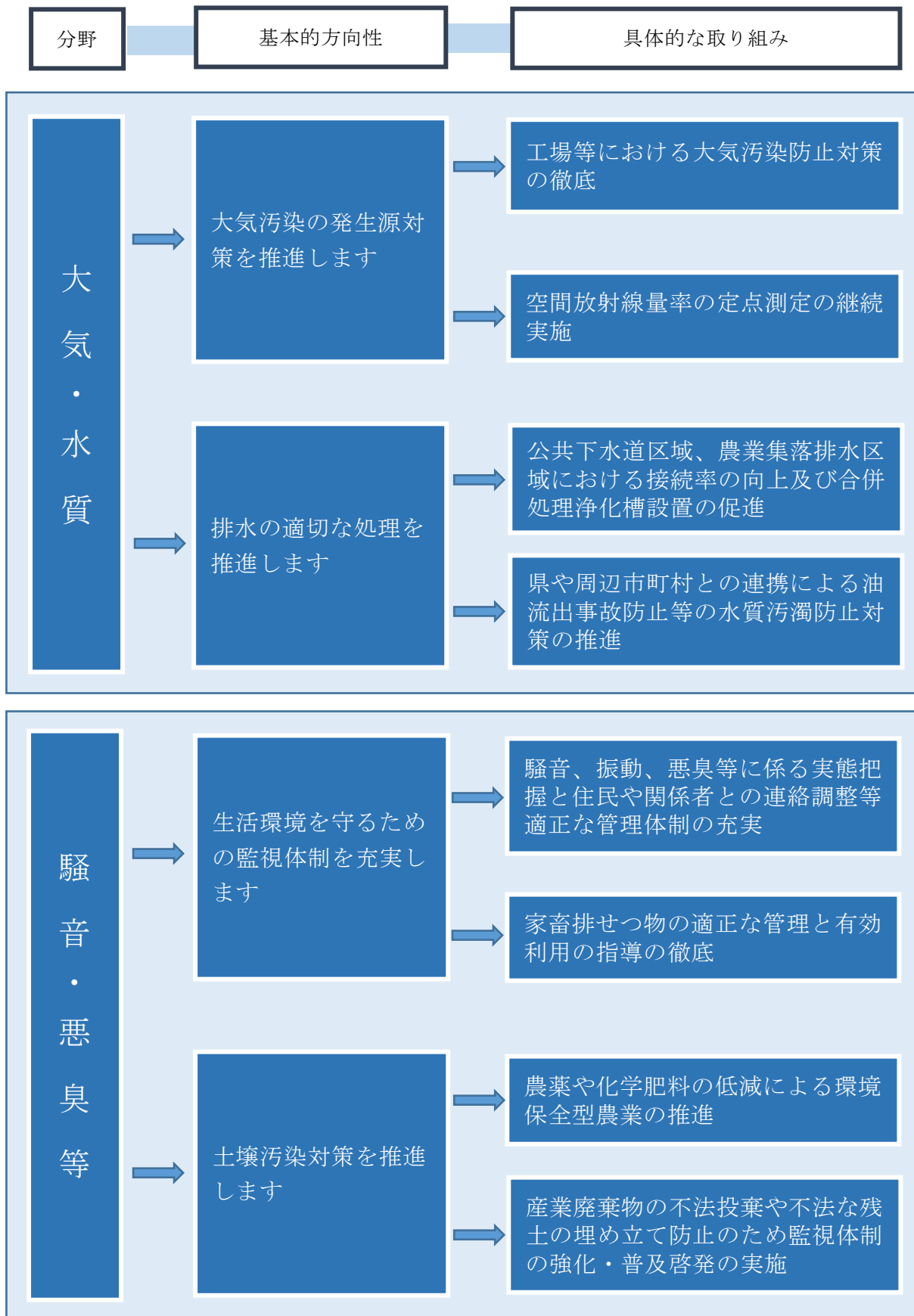
大気・水質

きれいな空気と水を守り、快適な生活環境を確保するため適切な排水処理や大気汚染の発生源対策を推進するとともに、継続的な放射線測定を実施します。

騒音・悪臭等

良好な生活環境を守るための騒音・振動等の防止を図るとともに、農薬の管理、廃棄物の適正処理等により土壌汚染対策を推進します。

「安全・安心な生活を支える基礎的生活環境の保全」に関する施策の展開



「安全・安心な生活を支える基礎的生活環境の保全」のために期待される行動

■町民の皆さんに期待される行動

〈主な行動例〉

- ・生活排水の適正な処理に配慮
- ・農薬や化学肥料を適正に使用 など

■事業者の皆さんに期待される行動

〈主な行動例〉

- ・大気汚染物質や産業排水の削減に努めるとともに、適正な処理を実施
- ・工事や製造等における騒音・振動・悪臭等の発生防止を励行 など

「安全・安心な生活を支える基礎的生活環境の保全」に関する環境指標

環境指標	目指す方向性	現状値 平成 27 年度	目標値(環境基準値) 平成 37 年度
大気環境基準指標			
二酸化硫黄の濃度	維持	0.001ppm	(0.04ppm 以下)
二酸化窒素の濃度	維持	0.008ppm	(0.06ppm 以下)
浮遊粒子状物質の濃度	維持	0.040mg/m ³	(0.10mg/m ³ 以下)
町全体生活排水処理率 ※汚水が衛生的に処理されている人口の割合	増加	86.7%	92.0%
公共下水道区域生活排水処理率	増加	84.6%	99.4%
農業集落排水区域生活排水処理率	増加	95.4%	99.4%
合併処理浄化槽区域生活排水処理率	増加	68.8%	77.7%
河川における水質の環境基準			
最上川(砂越) BOD75%値	維持	0.8mg/l	(2.0mg/l 以下)
京田川(亀井橋) BOD75%値	維持	1.0mg/l	(2.0mg/l 以下)
立谷沢川(東雲橋) BOD75%値	維持	<0.5mg/l	(2.0mg/l 以下)
公害苦情件数 ※苦情件数のうち、悪臭、騒音、振動に係る件数			
悪臭苦情件数	減少	4 件	0 件
騒音苦情件数	維持	0 件	0 件
振動苦情件数	維持	0 件	0 件

基本目標の方向性

庄内町は、霊峰月山をはじめとする山々の連なりから清流立谷沢川などの美しい河川や田園、街並みまで豊かな景観が広がっています。生活に身近な地域においては、里山や田園の緑と調和した集落景観、花のまちづくり事業などにより町民が主体となって創出された良好な景観が形成されています。

近年は、本町においても管理の行き届かない空家が見られますが、活力ある地域づくりを促進するため空家解消に向けた取組みが進められています。

また、本町には、有形・無形の歴史文化が数多くあり、その特徴として出羽三山信仰や農耕に関わる民俗行事等、歴史的遺産と貴重な自然環境が一体となっています。これらは、文化財として保護・保全が図られているとともに、お祭りなどによって地域の歴史・文化が伝承されています。

さらに、町内に点在する巨樹・巨木林は、素晴らしい景観の形成や地域のシンボルとして私たちの心のよりどころとなっています。まちの緑は、私たちにやすらぎとなるだけでなく、身近な自然として生物多様性の保全や景観形成、レクリエーションの場の提供などの多面的な公益機能を持っています。

生活において美しく、文化的で、快適な環境を有するためには、このような景観、歴史・文化、緑地といった要素が重要ですが、本町にはその資源が整っており、より良い生活環境の形成に向けて保全・整備を一層推進していきます。

分野及び方針

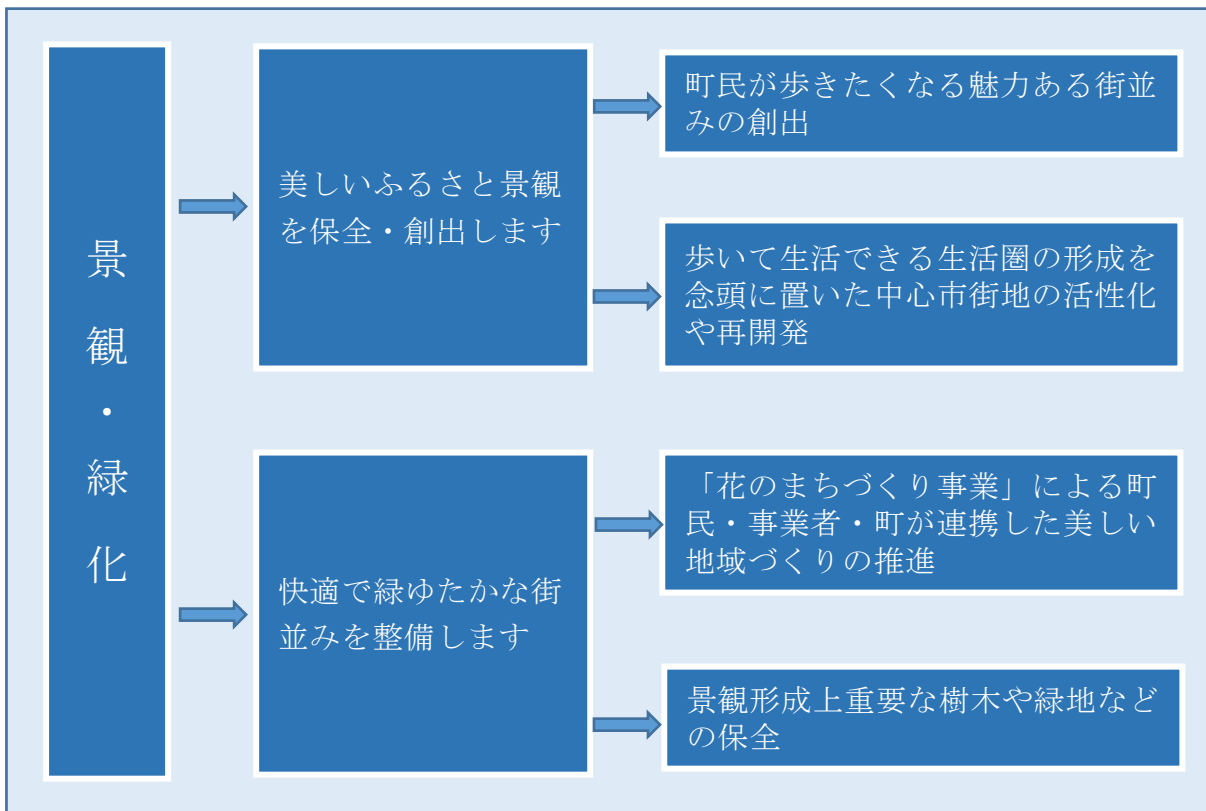
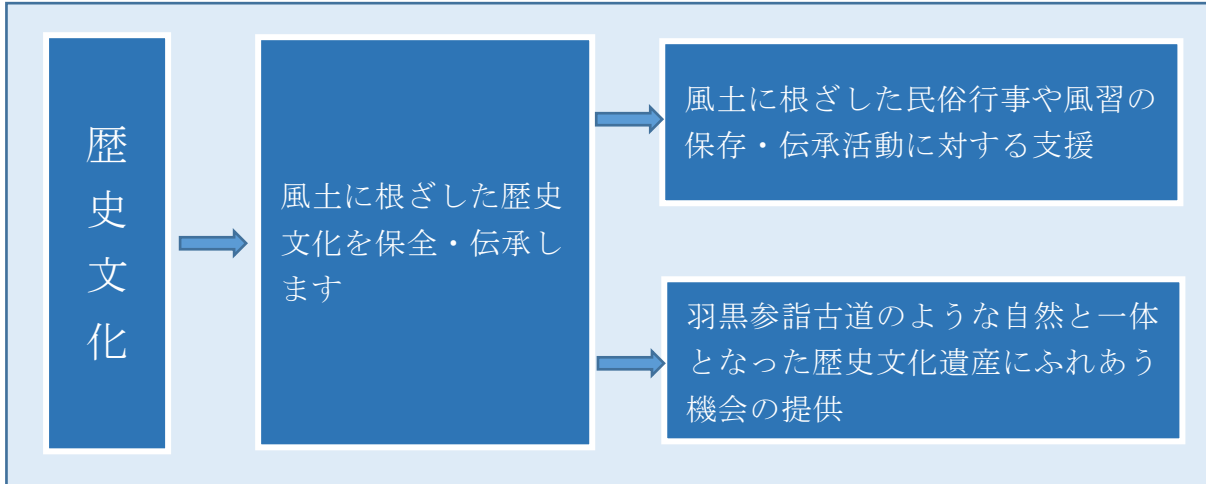
歴史文化

豊かな歴史と自然とのふれあいの場を提供するとともに、先人から受け継いだ貴重な歴史や文化遺産の保存・伝承を進めます。

景観・緑化

ふるさと庄内町の美しい景観の保全・創出を図るとともに、緑ゆたかで快適な街並みをつくります。

「歴史・文化的資源の保全・活用や美しい環境の創出」に関する施策の展開



「歴史・文化的資源の保全・活用や美しい環境の創出」のために期待される行動

■町民の皆さんに期待される行動

〈主な行動例〉

- ・住宅等を建てる際、周辺景観への配慮や良好な街並みづくりに協力
- ・地域における緑の保全・管理活動に積極的に参加
- ・空家、空地の適正な保全・管理 など

■事業者の皆さんに期待される行動

〈主な行動例〉

- ・事業所の建設や看板・広告物の設置に当たっては、周辺の景観に配慮
- ・事業所の敷地内の緑化を推進し、その管理・育成を励行 など

「歴史・文化的資源の保全・活用や美しい環境の創出」に関する評価指標

環境指標	目指す方向性	現状値 平成 27 年度	目標値 平成 37 年度
花のまちづくり事業参加団体数	増加	171 団体	185 団体
自然の中で歴史文化に親しむ事業への参加者数	増加	212 名	250 名

基本目標の方向性

本町は、春から秋にかけ最上川の溪谷からの東南東の強風「清川だし」が吹く強風地帯であることから、全国に先駆けて風力発電を導入したほか、雪氷熱や木質バイオマスエネルギーなど、地域特性を生かした再生可能エネルギーの有効活用を推進し、「次世代エネルギーパーク」の認定も受けています。さらに、東日本大震災以降は多くの方が節電を実施しましたが、それ以前から貴重なエネルギーを無駄なく使う省エネルギー活動として「町民節電所」を展開するなど、いち早くエネルギー問題に取り組み、新エネ百選にも認定されています。

また、本町におけるごみ・し尿は、本町と酒田市、遊佐町で運営している酒田地区広域行政組合において広域的に処理しており、これまで、広報・啓発活動を通じてごみの減量化や分別排出、リサイクルの促進に努めるとともに、関係機関との連携のもと、不法投棄対策も進めています。

地球規模で環境保全やエネルギーのあり方に対する関心が高まる中、持続可能な社会の形成に向けて、再生可能エネルギーの利活用の一層の展開や町民主体の省エネルギー活動の促進を図るとともに、町民の理解と協力により、ごみの減量化やリサイクル、不法投棄の防止等に一層積極的に取り組み、循環型社会を構築していきます。

分野及び方針

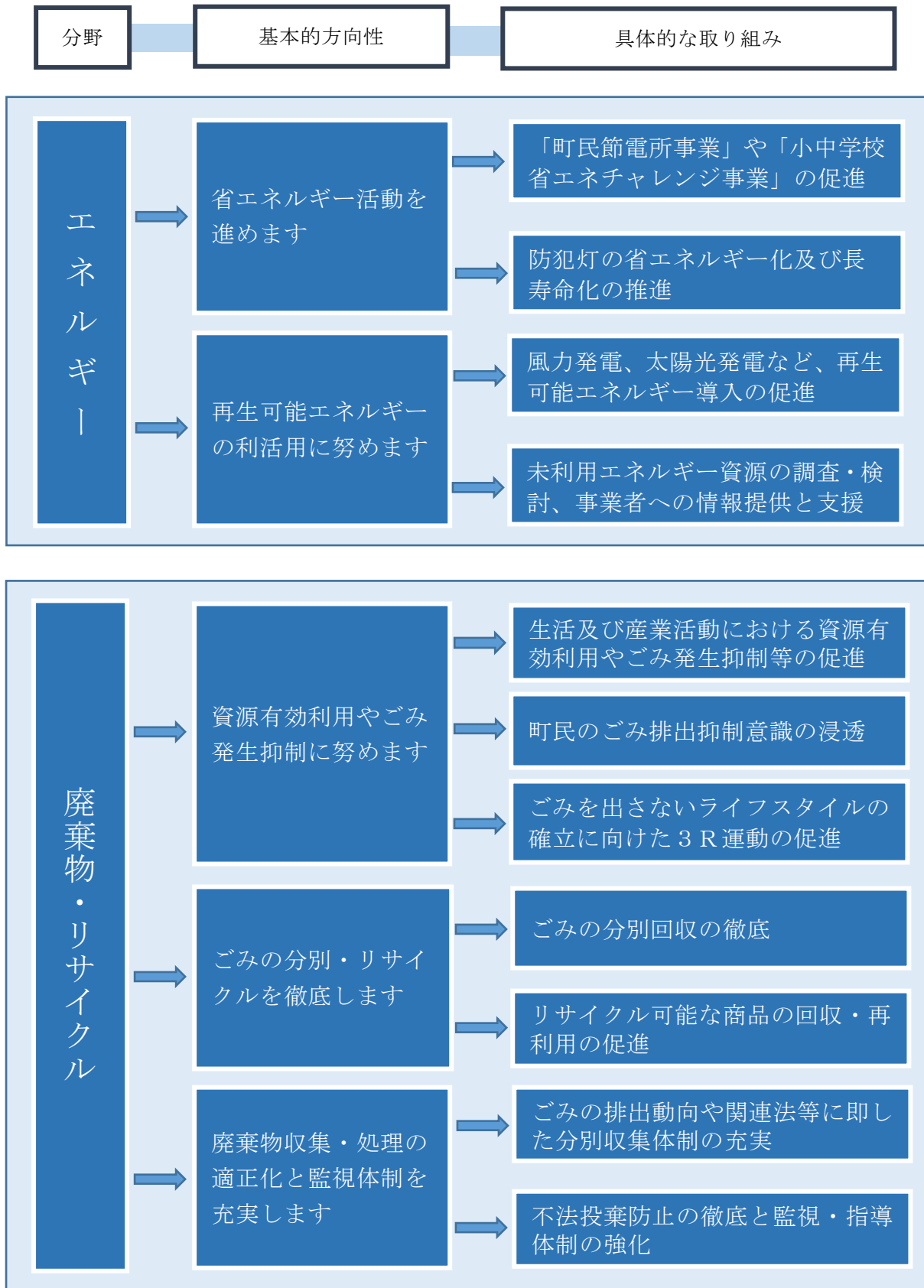
エネルギー

省エネルギー活動を促進するとともに、環境にやさしい再生可能エネルギーの総合的な利活用を進めます。

廃棄物・
リサイクル

ごみの発生抑制・分別の徹底を図るとともに、リサイクル資源の回収・再利用を促進します。廃棄物の収集・処理の適正化と監視体制の充実を図ります。

「持続的発展可能な循環型社会の形成」に関する施策の展開



「持続的発展可能な循環型社会の形成」のために期待される行動

■ 町民の皆さんに期待される行動

〈主な行動例〉

- ・ 省エネルギー型のライフスタイルに配慮
- ・ ごみの発生抑制に努め、不法投棄を行わないなどルールを遵守
- ・ ごみ分別の徹底や地域における資源ごみ回収活動に積極的に参加 など

■ 事業者の皆さんに期待される行動

〈主な行動例〉

- ・ 省エネルギー型の事業活動や再生可能エネルギーの導入を推進
- ・ 事業活動全般を通じて、資源の有効利用及びごみの発生抑制を励行
- ・ リサイクル可能な製品の利用に配慮 など

「持続的発展可能な循環型社会の形成」に関する評価指標

環境指標	目指す方向性	現状値 平成 27 年度	目標値 平成 37 年度
総ごみ排出量	減少	8,168.29 t	8,000 t
リサイクル率 ※資源化されたごみ重量÷総ごみ排出量×100	増加	22.02%	23.0%
不法投棄件数（前年度未解決分を含む）	減少	45 件	0 件
町民節電所によるCO ₂ 削減量（累計）	増加	83.6t-CO ₂	130t-CO ₂
新エネルギー導入比率 ※本町の再生可能エネルギーによる発電量÷本町での消費電力量×100	増加	13.2%	(H32) 84.0%
風力発電量 ※町内に設置された全ての風車による合計発電量	増加	9,815,000kWh	(H32) 71,811,000kWh

基本目標の方向性

庄内町は、豊かな自然と調和した町として良好な環境にあります。生活に身近な環境は、町民一人ひとりの清掃・美化やごみの分別、資源リサイクル等の日頃からの環境行動を基本として、自治会を単位とした資源回収事業や花のまちづくり事業、清掃活動等の環境保全活動・環境美化活動により支えられています。

また、小学校・中学校や地域の生涯学習活動の場では、環境に関する学習や本町の豊かな自然とのふれあい、自然体験などが実施されており、未来を担う子どもたちの環境教育が進められています。

現在の環境問題は、地球温暖化や生物多様性の喪失、有害物質の越境移動など、地球規模の問題が大きく報じられていますが、豊かな自然と共生する美しく快適なまち、持続可能なまちの実現に向けては、身近な環境の保全や日常からの適切な環境活動が重要です。

庄内町の美しい自然を保持し、このような環境と共生・調和し、住みよい環境を創出するために、環境問題に対する学習、活動、普及を進めながら、町民・事業者の主体的な環境活動を支援するとともに、町民・事業者・町の連携、協働による環境のまちづくりを進めていきます。

分野及び方針

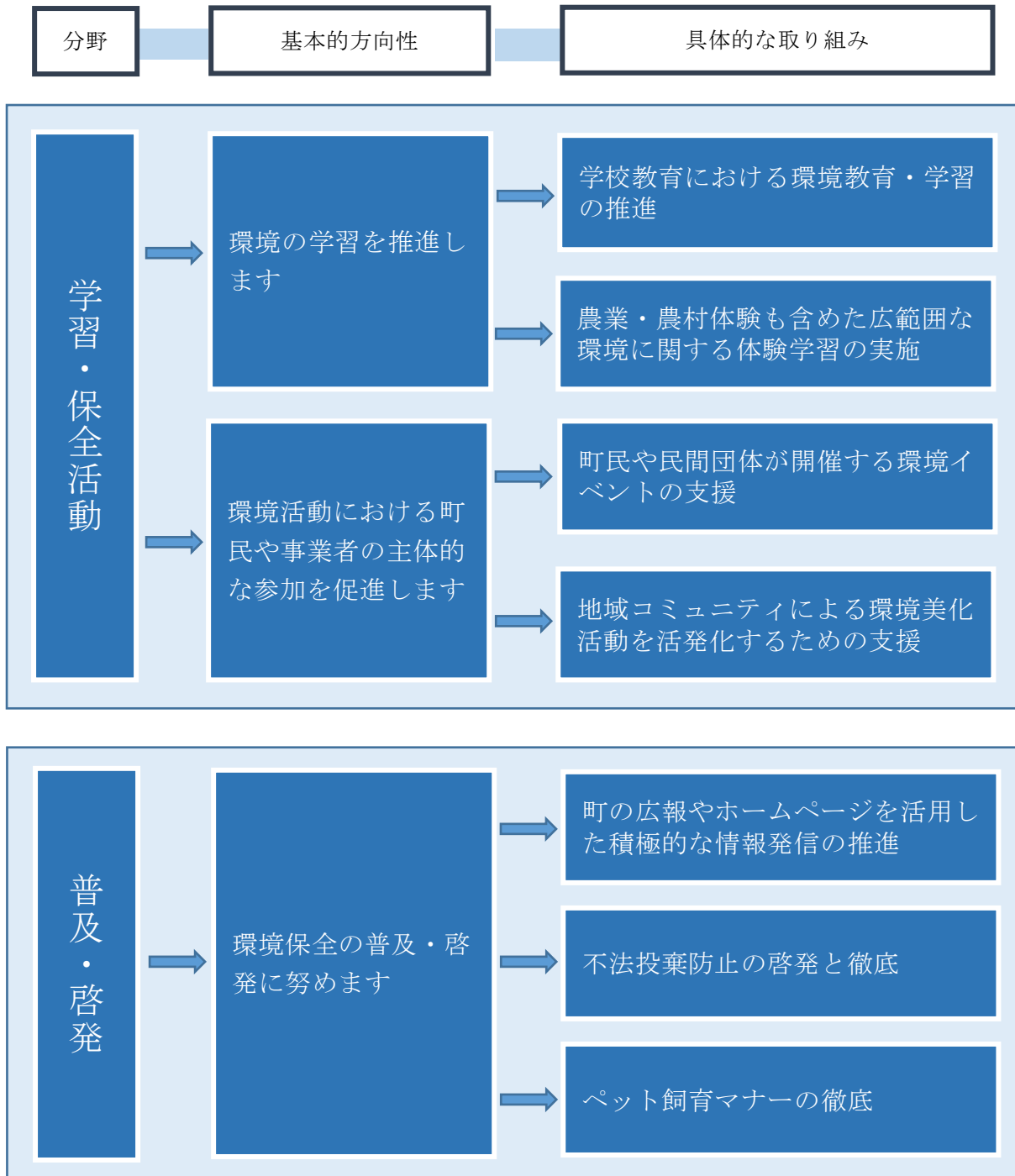
学習・保全活動

庄内町の自然から環境問題まで、学校や各種活動を通じて環境に関する学習を推進するとともに、環境保全活動における町民及び事業者の主体的な参加の促進を図ります。

普及・啓発

環境に関する情報の受信・発信による環境保全意識の普及・啓発とともに、環境保全に関するマナーの徹底を推進します。

「広報、学習、啓発、町民参加の推進」に関する施策の展開



「広報、学習、啓発、町民参加の推進」のために期待される行動

■町民の皆さんに期待される行動

〈主な行動例〉

- ・環境活動に参加し、町の優れた自然環境や身近な生活環境について学習
- ・環境保全活動に積極的に参加し、身近にできることを実行
- ・ペット類は、隣人や地域住民に迷惑にならないよう責任を持って飼育 など

■事業者の皆さんに期待される行動

〈主な行動例〉

- ・環境マネジメントシステムを導入し、環境に配慮した事業を展開
- ・環境保全活動に関して、事業者間で連携・協力し、活動を効率的に推進
- ・情報の提供等により、従業員の環境保全意識を向上 など

「広報、学習、啓発、町民参加の推進」に関する環境指標

環境指標	目指す方向性	現状値 平成 27 年度	目標値 平成 37 年度
環境活動団体数 ※環境ボランティア・NPO 団体数、花のまちづくり事業参加 団体数、資源回収推進事業参加団体数の合計	増加	282 団体	300 団体
水辺環境を保全する NPO 等の団体数(再掲)	増加	11 団体	13 団体
花のまちづくり事業参加団体数 (再掲)	増加	171 団体	185 団体
資源回収推進事業実施団体数	増加	100 団体	102 団体